

Team DreamDrive

ピレリ・スーパー耐久2019 Round.3 富士SUPER TEC 24 ～チーム結成3年目の悲願は24耐でのTCRクラス初優勝～

開催日時：2019年5月31日～6月2日

開催地：静岡県 富士スピードウェイ

Wether/Condition：【予選】曇り時々腫れ / ドライ 【決勝】 晴れ / ドライ

ドライバー：A 竹田直人 / B 白坂卓也 / C 田ヶ原章蔵



スーパー耐久第3戦目となる富士ラウンドは名物になりつつある24時間耐久レース。多くのメディア、ファンから期待されている一大レースになりサーキットでは様々イベントが用意されている。Team DreamDriveは昨年と同様の布陣で完走、そして表彰台をチーム一丸となって目指した。

BRIN·NAUB®

CONTEC

KINSHA

PRO TAKE

しずくまファクトリー

Winmax

LIQUI MOLY

ID VOX

Reborn Cup

amazing°

PROCE.

Meister Group

ITO EN

TUNAY'S

GIGAS JAPAN

萬進

Chéz moi

Azure

五国電機写真館

CABANA

金剛防災

JMC

Djac.Com

SEA SCAPE

esco

eco

Day One

ROYAL FIELD

ALBION ART

TAKASAKI

aisei

ELECTRIC

MY PACKAGE

T/OA

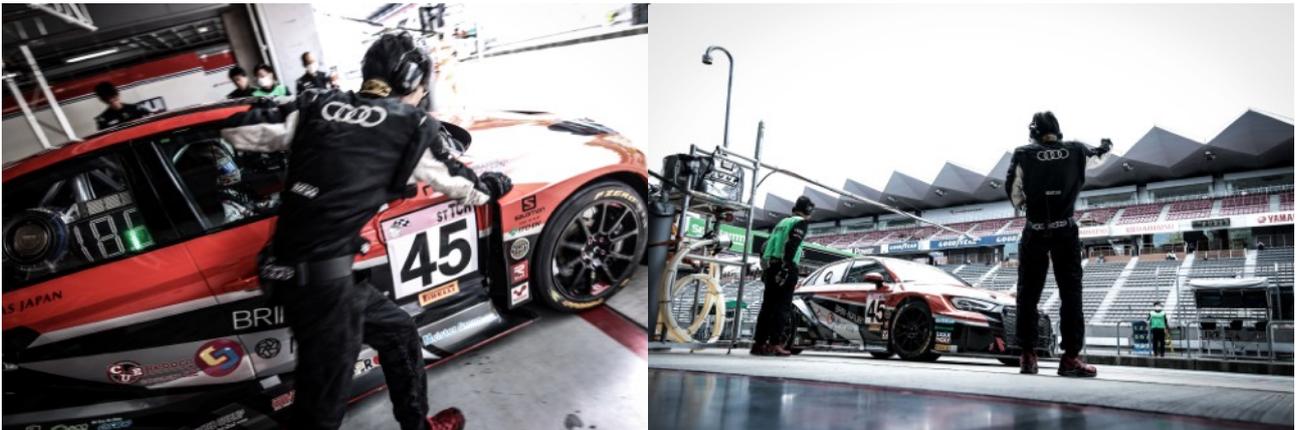
Kental

Turtoise

成田屋

ALPHALINE

Team DreamDrive



オフィシャルプラクティス

梅雨入り間近との予報だがサーキットは晴天で気持ちの良い気候の中、午前・午後・夜間と3回の走行を行った。Team DreamDriveは決勝を意識したプラクティスに徹する走りを行った。

公式予選

Aドライバー予選の竹田選手。今回はBOPが効いてデチューンされておりこれまでのパフォーマンスが出ずに苦しい走りを余儀なくされ2番手から8番手までが0.5秒に入る接戦。クラス8番手で終了した。

Bドライバー予選は白坂選手。同じくパフォーマンス不足の苦しい走りでクラス7番手で終了AB合算タイムでもクラス8番手からのグリッドと追い上げる決勝となった。

Cドライバー予選は田ヶ原選手が担当。長丁場の決勝レースのため、チームオーダーをこなしながらの走りを終え決勝に備えた。

BRIN・NAUB®

CONTEC

KINSHA

PROTAKE

しらくまフット

Winmax

LIQUI
MOLY

ID VOX

Reborn
cup

amazing®

PROCE.

CAFTS・MEMBER

Meister Group

ITOEN

FULLY'S

RE

GIGAS JAPAN

昌隆

Chéz moi

Azure

水田屋
写真館

CABANA

金剛防災

JMC

3-STAR

Djac.Com

SEA SCAPE

esco

eco

eco

ALPHA

ALPHA

ALPHA

Day One

METAL FIELD

ALBION ART

TAKASAKI

aisai

ELECTRIC

MYPAKAGE

ALPHA

TOA

Kentaf

Turtoise

成田屋

ALPHA

ALPHA

ALPHA

Team DreamDrive



決勝

昨年同様、朝から快晴となった富士スピードウェイ。日差しがあると汗ばむが時おり涼しい風が吹く。国内唯一の24時間レースという事で観客やメディアはお祭りムードが漂う。サーキットでは多くのイベントが予定されており、レースにイベントにと観客も楽しむことができる。午前中には往年のS耐車両やクラシック車両が走行する前座レースも開催され盛り上がっていた。

24時間耐久ということで本大会では通常より多くのドライバーの起用が許されている。TCRクラスでも各チームGTドライバーを始め第一線で活躍する選手が起用されている中、Team DriamDriveはDドライバーの奥村選手が急遽出場できず24時間をレギュラードライバーの竹田、白坂、田ヶ原の3選手で戦うことになっていた。休息時間を考え無理なリズム変化を避け、各スティントをシンプルに順番通りドライブすることに徹し、またBOPによる性能調整があったため、チーム内でのLAPタイムを決め淡々と走りきる作戦をとっていた。15時が近づきいよいよ長い戦いがスタートする。#45 BRIN・NAUB RS3 LMSは白坂選手から田ヶ原選手そして竹田選手の順番でスティントする。まずは白坂選手がスタートドライバーとしてフォーメーションラップからのスタートを切った。が、ス

BRIN・NAUB®

CONTEC

KINSHA

PROTAKE

しらくまフオ

Winmax

LIQUI MOLY

ID VOX

Reborn CUP

amazing®

PROCE.

Meister Group

ITOEN

TULLY'S

GIGAS JAPAN

Cher moi

Azure®

水田昭博 写真館

CABANA

金剛防災

Day One

METAL FIELD

ALBIONART

TAKASAKI

aisel

ELECTRIC

MYPAKAGE

T/OA

Kentari

Turtoise

成田屋

ALPHA LINE

Team DreamDrive



スタート直後に同じTCR車両からの追突でスピン。番手がクラス最下位（9番手）になりながらもうまく隊列後方につけた。幸い追突による大きなダメージは無く、ここから追いつける走りを見せる。LAPタイムを並べる走りを見ながら徐々に前方集団に追いつきクラス5番手にまで上がる走りを見せた。長丁場のレースゆえピットストップ回数やメンテナンスタイムの消化など各チーム戦略があるが、今回のメンテナンスタイムは10分間1回（昨年は8分間2回）が義務付けられていた。

1時間が経過しレースが落ち着き始める。1回目のPITストップは1時間半過ぎかと思われていたが、1時間20分ほどでクラストップのシビックがPITIN。その後1時間30分前後にも数台PITIN作業が行われていた。白坂選手は予定通り1時間40分でPITIN作業を行い、2番手田ヶ原選手へと交代を行った。その後のレースはPITタイミングで1番手～4番手が前後していたが、#45 BRIN・NAUB RS3 LMSは実質3番手4番手の好位置をキープしていた。夕刻を迎えナイトセッションが開始される頃、田ヶ原選手から3番手の竹田選手にドライバーチェンジ。#45 BRIN・NAUB RS3 LMSはその後も安定した走りを淡々と見せる。夜間になりTCRクラスのライバル車両が次々と問題を抱えPITストップ。20時10分に

BRIN・NAUB®

CONTEC

KINSHA

PRO TAKE

しずくまファクト

Winmax

LIQUI MOLY

ID VOX

Reborn Cup

amazing°

PROCE.

Meister Group

ITO EN

TUNAY'S

GIGAS JAPAN

Cher moi

ALBAART

TAKASAKI

aisel

ELECTRIC

Day One

ROYAL FIELD

ALBAART

TAKASAKI

aisel

ELECTRIC

MY PACKAGE

T/OA

Kentrol

Turtoise

成田屋

ALPHALINE

Team DreamDrive



は昨年も行われた花火が打ち上がるイベントが行われている。#45 BRIN・NAUB RS3 LMSは2回目の白坂選手のスティント終了時に大事をとってブレーキ周りの交換を行うためPITIN。予定通りの作業を終え田ヶ原選手にステアリングを託す。#45 BRIN・NAUB RS3 LMSは順調な走りを見せクラス1番手争いをするまで浮上。

日付が変わる頃にはクラストップとなり予定周回を3人のドライバーでこなし、PITストップ時にはミスのない完璧な送り出しをメカニックがこなしてる。深夜の時間帯では竹田選

BRIN・NAUB®

CONTEC

KINSHA

PRO TAKE

しずくま7+7

Winmax

LIQUI MOLY

ID VOX

Reborn Cup

amazing®

PROCE.

GRAFT-MAN

Meister Group

ITO EN

TUNAY'S

IN-LIN

GIGAS JAPAN

萬能

Cher moi

Azure

写真館

CABANA

金剛防炎

JMC

Djac.Com

SEA SCAPE

esco

eco

ALPHA LINE

Day One

ROYAL FIELD

ALBIONART

TAKASAKI

aisel

ELECTRIC

MY PACKAGE

TOA

Kentel

Turtoise

成田屋

ALPHA LINE

Team DreamDrive

手・白坂選手が安定した走りで周回を重ね、2番手車両にも2LAP以上のマージンが出来始めていた。#45 BRIN・NAUB RS3 LMSはクラストップをキープしたまま朝を迎える。9回目のPITでメンテナンスタイムを消化するためブレーキ周りを含めた作業を行いその後も無理のない完璧な走行を見せるドライバー陣だったが、残り6時間を切ったタイミングでミッションにトラブルが出始めていた。トラブル内容はドライバー陣に共有され、それぞれがカバーしあいながら更に周回を重ねた。ラストスティントを担当した田ヶ原選手が周回を重ねる頃には2番手と3LAP以上の差をつけ24時間を走りぬけた#45 BRIN・NAUB RS3 LMSはTCRクラストップでチェッカーを受けた。

3シーズン目にして待望のクラス優勝が富士24時間と言う一番過酷なレースで勝利できました。関係者様・スポンサー様にとって一番のご報告が出来たことを嬉しく思っております。激戦のTCRでの勝利は確実にチームを一回り大きくさせてくれました。シリーズは富士を終え残り3戦となります。次回のオートポリスでも優勝目指してまいりますので引き続き応援の程宜しくお願いいたします。

■ST-TCR クラス 予選総合タイム順位結果 ■(A,Bドライバー合算)

1) 97 Modulo CIVIC	3'38.488
2) 501 KCMG Annika CIVIC TCR	3'38.939
3) 22 WAIMARAMA KIZUNA Audi RS3 LMS	3'39.522
4) 75 AZIMUTH CIVIC TCR	3'40.137
5) 108 冨えカノfineレーシングwithRFC	3'40.213
6) 10 IDI GOLF GTI TCR	3'40.959
7) 19 BRP Audi Mie RS3 LMS	3'41.048
8) 45 BRIN・NAUB RS3 LMS	3'41.113
9) 65 Phenomen Mars Audi RS3 LMS	3'41.553

BRIN・NAUB®

CONTEC

KINSHA

PROTAKE

しずくまフォト

Winmax

LIQUI
MOLY

ID VOX

Reborn
cup

amazing®

PROCE.

CREFTS・MEMBER

Meister Group

ITO EN

TULLY'S

RAI

GIGAS JAPAN

昌隆

Chéz moi

Azure

次田健輔氏
写真館

CABANA

金剛防災

JMB

3-Point

Djac.Com

SEA SCAPE

esco

eco

SH

3-Point

Day One

DIGITAL FIELD

ALBION ART

TAKASAKI

aisai

ELECTRIC

MYPAKAGE

T/OA

Kentari

Turtoise

成田屋

ALPHALINE

■ ST-TCR クラス 決勝順位結果 ■

1) 45 BRIN・NAUB RS3 LMS	731 LAP
2) 10 IDI GOLF GTI TCR	728 LAP
3) 108 冴えカノfineレーシングwithRFC	718 LAP
4) 65 Phenomen Mars Audi RS3 LMS	691 LAP
5) 22 WAIMARAMA KIZUNA Audi RS3 LMS	691 LAP
6) 19 BRP Audi Mie RS3 LMS	674 LAP
7) 501 KCMG Annika CIVIC TCR	563 LAP
8) 75 AZIMUTH CIVIC TCR	555 LAP
-) 97 Modulo CIVIC	273 LAP

ピレリスーパー耐久シリーズ2019 SUGOラウンドを終えて

代表・監督 澤田 栄宏

多くの助っ人ドライバーを起用するライバルチームが多い中、レギュラードライバー3名でクラス優勝が出来ました。24時間という長いレースでしたので昨年の経験も考慮し如何に安定してLAPするかを第一にドライバー、メカ共に一丸となって戦ってくれた結果が報われたと思います。これまでご支援いただいた関係者様・スポンサー様、応援いただいている皆様に最高の報告でできてホッとしております。後半戦も気を引き締めて戦ってまいりますので引き続き応援よろしくお願ひします。

Aドライバー 竹田 直人

やっとこのときが来たというのが正直な気持ちです。予選では少し失敗をして下位に沈みましたが24時間もあるのでグリッドのことは気になりませんでした。



決勝では4回、7時間程度のスティントを走りました。如何に安全にペースを保つかを念頭に集中しましたが一回の接触もコースアウトもスピンも無く非常に満足しております。本当のことを言うと2回目終わりに帰りたくなりましてけど。優勝するとこんなにも取材があるのかと驚きました。表彰台から早く戻ってチーム、スポンサーやファンみなさんと称え合いたかったのですが遅くなり過ぎました。それが悔やまれます。愛想の無いことで本当にすみません。もう、次の第四戦に向けてレースは始まっています。さらに磨きをかけて盤石の試合をお見せします。さらなる応援をよろしくお願ひします。最後に、一緒に走れなかった奥村選手ですがレースを始めるきっかけを作ってくれたソウルメイト、表彰台では4人で上がったのだと思っています。トロフィーもう一個もらえませんか？

Bドライバー 白坂 卓也

フリー走行の走り始めからエンジンフィーリングに若干の違和感があり、他のアウディ勢に比べてもトップスピードが伸びず予選順位は下位に沈みました。それでもユーズドタイヤのタイムは良くレースへ向けた手応えはあったので、レース1周目に追突された後も落ち着いて走行してポジションを上げていく事が出来ました。決勝に強い車を作ってくれたチームに感謝です。この1勝までが本当に長く、苦しい2シーズンを送りましたがチームの総合力が最も試される24時間レースで結果を残せた事はとても意味のある事だと感じます。ここまで応援してくれた方々に感謝して、また次のレースへ向け気を引き締めていきたいと思ひます。応援ありがとうございました！

Cドライバー 田ヶ原 章蔵

やっと！やっと！勝てましたね！チームのみんなと一緒に勝ち取った素晴らしいレースでした！富士24時間レースという伝統のレースでのチーム初優勝もドリームドライブさんらしいなあと思ひます！歴史に名前が残りましたね！竹田選手のジェントルマン枠を超えた成長の証である長時間ドライブ、白坂選手の夜のハイスピードの走り、3人のドライバーで2年半、苦楽を共にして来た関係だからこそ色々なトラブルも乗り越え、またそれをどこのチームにも知られず走りきった事の凄さ！毎ピット作業をミスなく素晴らしい速さで送り出してくれたメカチーム、裏方でほぼ不眠不休で率いてくれた澤田代表さんや全てのスタッフさん、何時でもお食事を提供下さったシェフ&マダムさん、応援して下さった全てのスポンサー様、関係者様、応援して下さいました方々、メディアの皆さん、審査員の皆さん、オフィシャルの皆さん、全てのスーパー耐久レース関係者の皆さん、本当にありがとうございました！お疲れ様でした！勝ったことで、次戦以降、更に肩の力を抜いた素晴らしい45号車のチーム力を地に足をつけてまた邁進していきたいと思ひます！忘れられない1日に感謝です！

BRIN·NAUB®

CONTEC

KINSHA

PRO TAKE

しずくまフット

Winmax

LIQUI
MOLY

ID VOX

Reborn
CUI

amazing°

PROCE.

GRAFT-MASTER

Meister Group

ITO EN

TUNAY'S

IN-LAB

GIGAS JAPAN

萬進

Chézmoi

ALZURE

五田電機
写真館

CABANA

金剛防災

JMB

三和

DjacCom

SEA SCAPE

esco

eco

SH

3M

Day One

ROYAL FIELD

ALBIONART

TAKASAKI

aisai

ELECTRIC

MYPAKAGE

ASAHI

TOA

Kentel

Turtleise

成田屋

ALPHALINE